

赤光

復刻版 全3巻 2020年9月刊行予定

- 収録内容：社会主義学生同盟マルクス・レーニン主義派機関紙（誌）『赤光』全110号（1963年4月頃～1970年12月、レボルシオン社発行）
付録『マルクスレーニン主義』1・2号『理論戦線』3号
- 原本提供：小林健作・滋賀県立大学図書館・日大930の会
- 巻頭言：鈴木迪夫（元 日本マルクス・レーニン主義者同盟書記長）
- 体裁：1・2巻=B5判上製・各巻約500頁(予定) 3巻=A3判上製・242頁(予定)
- 揃定価：58,300円（本体53,000円+税）

関係者特価 **29,150円**（本体26,500円+税） 送料無料

2020年6月30日まで予約受付中！

同封のハガキにてお申し込みください

■不二出版株式会社 <http://www.fujishuppan.co.jp/>
〒112-0005 東京都文京区水道2-10-10 TEL03-5981-6704 FAX03-5981-6705
メール administrator@fujishuppan.co.jp

◎刊行の辞

1960年代、少数派ながら反権力闘争に大きな影響力を持った日本マルクス・レーニン主義者同盟（ML派）。同派は日大、東大全共闘において運動を中心的に指導したのみならず、中国の文化大革命をいち早く評価するなどの豊かな思想的営為により、今日なお示唆に富む一定の成果を挙げた。本書は、もはや幻となっていた同派の機関紙『赤光』をほぼ全号復刻し、60年代運動史研究の基礎資料として呈するものである。今回じつに50年ぶりの復刻が可能になったのは、新潟在住の小林健作氏の所蔵原本に依るところが大きい。創立時幹部の唯一の生き残りである鈴木迪夫氏の巻頭言を付す。

（不二出版 代表取締役会長 船橋 治）

●鈴木迪夫「復刻に寄せて」より（一部抜粋）

——第一次ML同盟は佐竹茂を指導同志として創建され、第二次ML同盟は畠山嘉克を議長として、これを発展的に解消創建されたのであった。六〇年代から七〇年初頭にかけて、同盟は闘い、闘い、闘いぬいた。『赤光』を武器に『赤光』に拠り、徹底的に闘いぬいたのである。とりわけ日大全共闘、東大全共闘を中心に全共闘運動を闘い、多くの同志をとられつつも、いわば上から下まで根こそぎ的に同志を投入し、死にもの狂いで闘ったのである。

それは、第二次ML同盟にあっても継承された。憲法、日韓、ベトナム反戦、大学、三里塚、原潜寄港、王子野戦、さらにキューバ、中国文化大革命との連帯。それらの闘いの理論的評価、連帯を呼びかけ、勉強する機能もまた、『赤光』は担った。ML同盟の崩壊、整風運動に挑戦し、鈴木自己批判を公然と明らかにして苦悶する同盟の赤裸々な状況も隠さず、『赤光』は闘った。そして同盟の崩壊と共にその命運も尽きた、『赤光』。

「消えた」『赤光』は、今そのままの姿で復刻されようとしている。

（すずき・みちお 元 マルクス・レーニン主義者同盟書記長）

WANTED

『赤光』第1号（1963年4月頃発行と推定）が資料散逸により未発見です。お心当たりの方は弊社までご一報ください。

赤光

